

ツムラ
今日までと、
これからと。

株主・投資家の皆様へ



〈経営理念〉
自然と健康を科学する



化学構造式を象った形状は、
ツムラの「自然と健康を科学する」
姿勢を表わしています。
コーポレートカラーの
ツムラセピアは、
草根木皮が息吹く自然の恵みの
源泉である「大地」の色を
意味しています。

Contents

株主の皆様へ	1
決算レポート	3
トピックス	5
・中期経営計画 ・女性のための漢方セミナー 全国にて開催	
ツムラ通信	9
・株主優待制度に関するお知らせ ・ツムラホームページ(IR)がリニューアル	
会社の概要・株式の状況	10
株主メモ	11

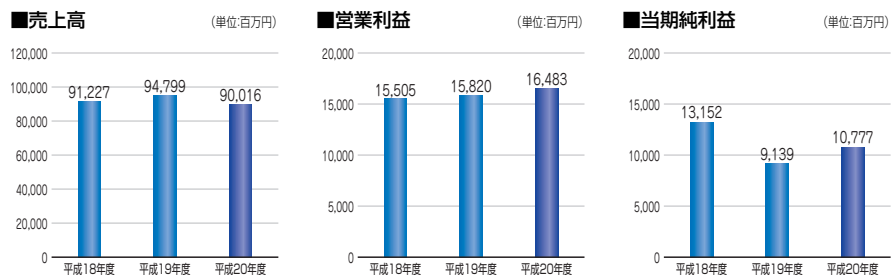
株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
「ツムラ 今日までと、これからと。」をお届けするにあたり、ここに改めまして、
日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

「今日までと・・・」

医療用漢方製剤は引き続き着実に伸長

平成20年度の業績につきましては前期に比べて減収増益となっています。
減収の要因は、昨年8月にツムラ ライフサイエンス株式会社（以下、TLS）の株
式を譲渡し、連結除外になったことによるものです。
主力であります医療用漢方製剤につきましては、販売数量が前期比11.5%の伸長
を示すことができました。薬価基準引き下げの負の影響がありましたが、金額ペー
スで前期を6.9%上回る結果となりました。また、医療用漢方製剤129処方中、115
処方が金額ベースで前期に比べて伸長しており、漢方医学の確立を目指した活動や
育薬の推進が、着実に成果として現れているものと考えます。
さらに、営業利益につきましては、漢方・生薬に特化した事業展開を推し進めた
結果、前期に比べ4.2%増加し過去最高益となりました。営業利益率は前期の16.7%
から18.3%となり、収益性は大きく向上しています。
当期純利益につきましては、TLSや医療用外用抗真菌剤アスタットの譲渡益を特
別利益に計上したこと等により前期比17.9%増加しています。



増配を基調に安定配当を継続

期末の1株当たりの配当金は17円とし、年間配当金
は前期に比べて11円増額し34円としました。当社で
は、株主様に対する利益還元を会社の重要政策のひと
つと位置づけています。今後も、設備投資や毎期の業
績、配当性向等を総合的に勘案し、増配を基調に安定
配当を実施していく方針です。

「これからと・・・」

中期経営計画(平成21～23年度)を策定

当社は、平成21年度を初年度とする中期（3ヵ年）
経営計画を策定し本年5月に発表しました。
新しい中期経営計画は、「漢方・生薬事業に特化し
た新たなステージの展開」と位置づけ、医療用漢方製
剤が毎期数量ベースで10%伸長することを前提に策
定しています。
株主様への還元につきましては、投資等の状況を勘
案しながら、増配基調を継続していきたいと考えてい
ます。
当期、平成21年度の業績予想につきましては、売
上高923億円、営業利益191億円、当期純利益113億
円と増収増益を見込んでいます。また、1株当たりの
配当金は、中間、期末それぞれ20円、年間40円を予
想し、前期に比べて年間配当金は6円の増額となる見
込みです。

※中期経営計画の数値目標や活動目標につきましては、本誌
5～7ページにて詳しくお知らせしています。

人に優しい企業を目指して

当社は北海道夕張市に原料生薬の生産・加工・保管
拠点を設け、北海道における生薬栽培を拡大すること
を決定いたしました。夕張市は地理的な面で利便性が
あり、年間を通して平均気温が低いこと、低温倉庫の
エネルギーを抑えることで地球の温暖化防止にも貢献
できます。さらに、拠点を設けることで、夕張市に対
して少しでも経済的な地域貢献ができればと考えてお
ります。また、加工場につきましては、バリアフリー
対応など、高齢者や障がい者の方々にも、より働きや
すい職場環境を提供して参りたいと考えております。

当社は、「漢方・生薬事業を通じて、社会や人々の
お役に立てる企業、人に優しい企業」を目指して参り
ます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご
支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
芳井 順一

Financial Report [Consolidated]

◆連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 平成21年3月31日現在	前 期 平成20年3月31日現在
(資産の部)		
I. 流動資産	69,003	68,724
II. 固定資産	57,821	66,421
有形固定資産	38,754	40,251
無形固定資産	406	1,290
投資その他の資産	18,659	24,879
III. 繰延資産	—	0
資産合計	126,824	135,146
(負債の部)		
I. 流動負債	43,885	48,294
II. 固定負債	8,970	14,440
負債合計	52,855	62,734
(純資産の部)		
I. 株主資本	73,917	65,409
資本金	19,487	19,487
資本剰余金	1,940	1,940
利益剰余金	52,868	44,349
自己株式	△ 379	△ 368
II. 評価・換算差額等	△ 725	6,213
その他有価証券評価差額金	△ 1,129	4,680
繰延ヘッジ損益	△ 264	△ 685
土地再評価差額金	1,775	2,041
為替換算調整勘定	△ 1,106	176
III. 少数株主持分	777	788
純資産合計	73,968	72,411
負債純資産合計	126,824	135,146

◆連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 自平成20年 4 月 1 日 至平成21年 3 月31日	前 期 自平成19年 4 月 1 日 至平成20年 3 月31日
売上高	90,016	94,799
売上原価	29,028	31,609
売上総利益	60,987	63,190
販売費及び一般管理費	44,504	47,369
営業利益	16,483	15,820
営業外収益	932	818
営業外費用	793	1,380
経常利益	16,622	15,258
特別利益	3,359	770
特別損失	2,041	1,423
税金等調整前当期純利益	17,940	14,605
法人税、住民税及び事業税	6,316	5,874
法人税等調整額	717	△ 433
少数株主利益	128	24
当期純利益	10,777	9,139

◆連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 自平成20年 4 月 1 日 至平成21年 3 月31日	前 期 自平成19年 4 月 1 日 至平成20年 3 月31日
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	10,634	5,358
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,341	△ 4,049
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,354	△ 7,419
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 59	16
V 現金及び現金同等物の増加額・減少額(△)	878	△ 6,094
VI 現金及び現金同等物の期首残高	13,718	19,812
VII 現金及び現金同等物の期末残高	14,596	13,718

◆決算ポイント

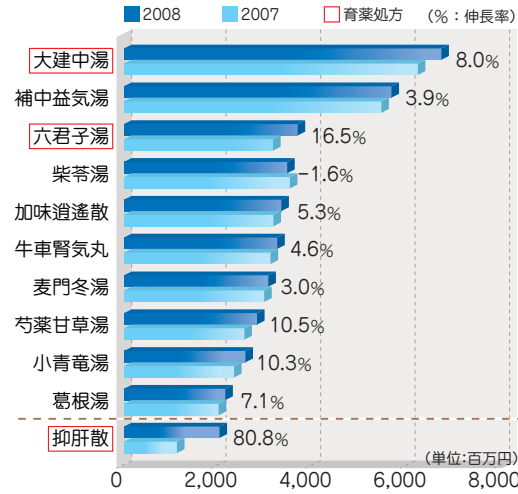
(単位：百万円)

	計 画	当 期	計画比	前 期	前期比
売 上 高	90,200	90,016	△184	94,799	△4,782
営 業 利 益	16,600	16,483	△117	15,820	663
経 常 利 益	16,400	16,622	222	15,258	1,364
当 期 純 利 益	10,400	10,777	377	9,139	1,637
売上高営業利益率	18.4%	18.3%	—	16.7%	—

ワンポイント解説

主力の医療用漢方製剤は数量ベースで前期比11.5%伸長しており、医薬品の売上高は着実に増加しています。(ツムラ ライフサイエンス株式会社の連結除外により、連結売上高は前期に比べ減少しています。)また、営業利益、経常利益は過去最高益となっています。売上高営業利益率は18.3%となり、前期(16.7%)を上回り、収益性は大きく向上しています。

●ツムラ医療用漢方製剤 売上高トップ10と育薬処方



処方名	主に使われている疾患・症状
(ダイケンチュウトウ) 大 建 中 湯	イレウスに伴う腹痛、腹部膨満感
(ホチュウエツキトウ) 補 中 益 気 湯	術後の体力増強、食欲不振 など
(リクテンジトウ) 六 君 子 湯	胃炎、食欲不振、機能性の胃腸症
(サイレイトウ) 柴 苓 湯	浮腫を伴う疾患、急性胃腸炎
(カミショウヨウサン) 加味逍遙散	更年期障害に伴う様々な症状
(ゴシャジンキガン) 牛車腎気丸	頻尿、腰痛、しびれ(糖尿病性神経障害 など)
(バクモンドウトウ) 麦 門 冬 湯	咳(感冒、気管支炎 など)
(シャクヤクカンゾウトウ) 芍薬甘草湯	筋肉のけいれんを伴う痛み(こむらえり など)
(ショウセイリュウトウ) 小 青 竜 湯	アレルギー性鼻炎、気管支炎
(カクコントウ) 葛 根 湯	感冒、肩こり
(ヨクカンサン) 抑 肝 散	神経症、認知症にみられる周辺症状

👉 ツムラホームページへアクセスしてください

※漢方にも詳しいお医者様をご紹介します。



全国の医療機関の中から漢方に詳しいお医者さんを探せます。

※漢方に関する情報が満載です。



Kampo view
お悩み別漢方など、情報が満載！
楽しく漢方を学べます。

<ご注意願います!>
漢方薬は、ひとりひとりの体質や症状を考慮して処方される薬です。したがって同じ症状・病気でも同じ薬が処方されるとは限りません。必ず、医師の診察あるいは薬剤師の指導を受けていただくようお願いいたします。

中期経営計画（平成21～23年度）

「漢方・生薬事業に特化した新たなステージの展開」

当社は、平成21年度を初年度とする中期（3ヵ年）経営計画を策定いたしました。

平成21年度は、医療用漢方製剤を主力とする製薬企業として、新たなスタートの年と位置づけています。

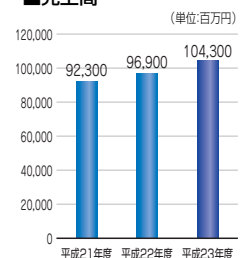
3ヵ年計画の最終年度の平成23年度には、売上高は1,043億円、営業利益は254億円を目指しています。

中期経営計画（平成21～23年度）数値目標

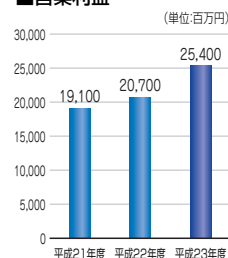
（単位：百万円）

	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	計 画	前 期 比	計 画	前 期 比	計 画	前 期 比
売 上 高	92,300	2.5%	96,900	5.0%	104,300	7.6%
営 業 利 益	19,100	15.9%	20,700	8.4%	25,400	22.7%
経 常 利 益	19,300	16.1%	20,900	8.3%	25,700	23.0%
当 期 純 利 益	11,300	4.9%	12,100	7.1%	15,000	24.0%
営 業 利 益 率	20.7%		21.4%		24.4%	
ROA（総資産営業利益率）	14.5%		14.7%		16.7%	

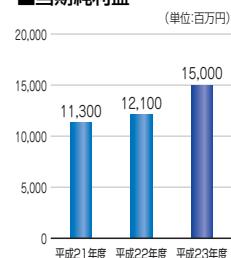
■売上高



■営業利益



■当期純利益



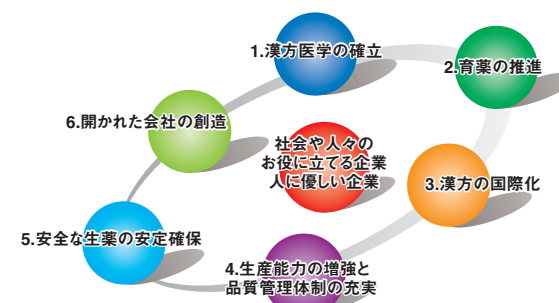
人に優しい企業を目指して

当社は、「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献する」ことを経営指針に掲げています。両医学を融合することで、人に優しい医療の提供に、より一層貢献できるものと考えます。

患者様・そのご家族の皆様をはじめ、医師・薬剤師の皆様、株主の皆様、取引先、地域社会、そして社員、といった全てのステークホルダーにとって優しい会社でありたい、と願っています。

ツムラは、「漢方・生薬事業を通じて、社会や人々のお役に立てること、人に優しい企業であること」を、事業を行なう上での中心に据え、6つの活動目標の達成を目指しています。

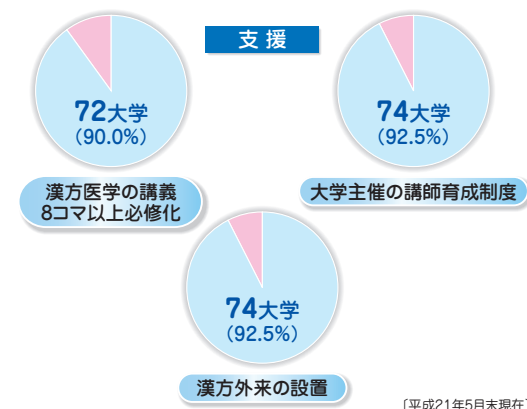
6つの活動目標



① 漢方医学の確立

当社は、全ての大学医学部・医科大学において漢方医学の講義履修が必修化されること、漢方医学の教育ができる講師を育成するプログラムが実施されること、臨床研修を目的とする漢方外来が全ての大学病院に設置されること、その結果として医師国家試験に漢方医学の問題が採択されることが、漢方医学の確立であると考えております。すでに医学部を持つ全国80大学全てにおいて漢方医学教育が導入されており、講義履修の必修化など教育内容の充実が進み、大学内における講師育成プログラムの実施、漢方外来の設置も確実に進んでおり、漢方医学の確立に向けた環境は整いつつあると考えております。

現在の状況（80大学中）



② 育薬の推進

近年の疾病構造を見据え、新薬での治療に困っている疾患で、漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞って、臨床・基礎データの集積によりエビデンス確立を目指しています。

現在、「ツムラ抑肝散」「ツムラ六君子湯」「ツムラ大建中湯」の3品目を育薬処方として推進していますが、今年度は新たに「ツムラ牛車腎気丸」と「ツムラ半夏瀉心湯」を育薬候補として探索します。いずれも「がん領域」において、抗がん剤が引き起こす有害事象を軽減させる効果が期待できるものです。漢方製剤を服用いただくことで、「患者様に優しい医療」に貢献できることを目指しています。

③ 漢方の国際化

TU-100（大建中湯）については、手術後イレウス（手術後の消化管機能障害）改善をターゲットとした忍容性試験を終え、安全性・服薬性に問題がないことを確認しています。今年度は、6月より米国メイヨー・クリニックにおいて臨床薬理試験がスタートしました。育薬活動との連携により、国際化につながるデータの集積を進めるとともに、米国における開発ネットワークを充実させ、TU-100（大建中湯）の開発を進めます。

④ 生産能力の増強と品質管理体制の充実

医療用漢方製剤の製造工程における各種設備の増設や更新など、効率的な設備投資を進め、医療用漢方製剤の需要の増大に対応します。品質管理体制については、残留農薬及び微生物等に関するすべての検査を「分析センター」に集約し、効率化を図っています。

5 安全な生薬の安定確保

漢方薬の原料生薬に関して、生産地から工場に納入するまでの各段階の情報を収集・記録・保管し、履歴の追跡・遡及を可能とするトレーサビリティ体制を充実させています。国内外の産地における栽培方法や栽培管理の統一化を進め、効率的な栽培と品質保証の強化を図っています。安全で安心できる原料生薬の安定確保に継続して取り組んでいます。



中国 今後も主たる調達国

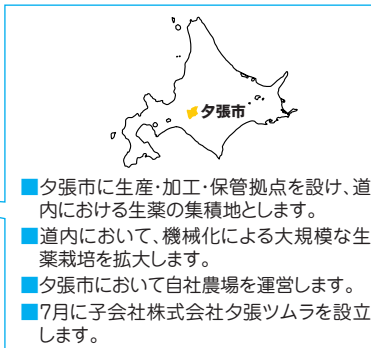
- 野生生薬の栽培化、砂漠化防止

日本 国内栽培の強化

- 北海道中心に拡大

ラオス 自社農場によるトレーサビリティ体制の強化

- 2009年度 現地法人設立予定



- 夕張市に生産・加工・保管拠点を設け、道内における生薬の集積地とします。
- 道内において、機械化による大規模な生薬栽培を拡大します。
- 夕張市において自社農場を運営します。
- 7月に子会社株式会社夕張ツムラを設立します。

6 開かれた会社の創造

透明性の高い経営・企業情報の適時開示を行っています。

〔コラム〕 当社の取り組みのご紹介

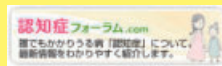
BPSD（認知症の周辺症状）サポートエリア活動

当社は、認知症の周辺症状を有するすべての患者様が、それぞれの地域で十分な治療を受けることができるよう「地域認知症サポートブリッジ（NPO法人）」と連携してBPSDサポートエリアプロジェクトを推進しています。

同活動では、各地域で認知症の治療における医師向けの研修（1泊2日）を開催しています。

また、研修に参加した医師を中心としたケアチームを育成するために医師とケアスタッフによるチーム研修を開催しています。

さらに、その地域で行なわれる読売新聞社・NHK・NHK厚生文化事業団主催、当社協賛の認知症フォーラムの開催などにより、患者様とご家族の皆様への情報提供活動も行なっています。



当社は、「認知症フォーラム」に協賛しています。

認知症フォーラムの様子や認知症に関する基礎知識・最新情報は、認知症フォーラム.comのウェブサイトをご参照ください。

女性のための漢方セミナー 全国にて開催

～ 株主様25組50名様（各開催地）を抽選にてご招待 ～



当社では、漢方に関する理解を深めていただくために、毎年全国各地で開催される市民公開セミナーに協賛しています。

昨年度開催の「女性のための漢方セミナー」へは、多数の株主様からご応募をいただきまして、誠にありがとうございました。

今年度も株主様を対象に「女性のための漢方セミナー」へ、各開催地25組50名様（1組＝2名様）を抽選にてご招待いたします。参加を希望される株主様は、応募方法をご確認のうえお申込みください。

今年度は、主に20～30代の働く女性を対象に「心と体の不調」などをテーマとして開催する予定です。この機会に漢方に親しんでいただいて、皆様の健康にお役立ていただければ幸いです。

<応募方法>

官製ハガキまたは、ツムラホームページからお申込みいただけます。

- (1) 官製ハガキに下記の必要事項を明記のうえ、当社コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループまでご応募ください。
- (2) ツムラホームページ <http://www.tsumura.co.jp/> 内からお申込みください。

【必要事項】	①参加希望地区と日程 ②郵便番号 ③ご住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥性別 ⑦電話番号 ⑧ご職業
【宛 先】	〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号 株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ 宛

※当選者の発表は、ご案内ハガキの発送をもってかえさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は株式会社ツムラが厳重に管理し、当選通知・招待状の郵送および今後の企画立案の参考以外の目的には使用いたしません。

なお、個人情報に関する当社の取扱いの詳細につきましては、ツムラホームページをご参照くださいますようお願い申し上げます。

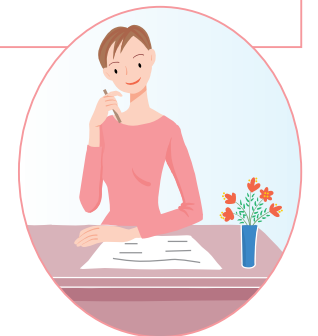
■注意事項

セミナー応募は、株主様おひとりにつき1通のみとさせていただきます。

記入もれがある場合は、応募が無効になることがあります。

応募締切：2009年7月31日（当日消印有効、ツムラホームページでのお申込みの場合は7月31日 到着分まで有効）

お 願 い：ご招待はお席の確保をお約束するものです。会場までの交通費等はご負担ください。



株主優待制度に関するお知らせ

■今回の株主優待品の贈呈について

平成21年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上ご所有の株主様に対する優待品（入浴剤等生活用品）は7月初旬に贈呈いたします。

なお、優待品のお届けは、基準日（平成21年3月31日）時点のご登録のご住所宛とさせていただきますので、移転等によりお届け先の変更をご希望の方は、当社コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループまで、ご連絡願います。（E-mail：investor_madoguchi@mail.tsumura.co.jp TEL：03-6361-7101）

■株主優待制度の廃止及び増配について

当社は株主優待制度として、当社グループ会社でありましたツムラ ライフサイエンス株式会社（以下、TLS）の製品である入浴剤等を贈呈して参りました。

一方、TLSの全株式を昨年8月に株式会社ブルメリアに譲渡しましたことを機に、TLS製品に替わる自社製品を優待品として検討いたしました。適当な製品が選定できず、株主優待制度の継続等見直しを行ないました。

その結果、優待品の贈呈に替えて、現金配当による利益還元を拡充することが適切であるとの結論に至り、今回の贈呈を最後として当社の株主優待制度を廃止させていただくことになりましたのでご報告させていただきます。

なお、平成22年3月期の年間配当金は、前期に比べ6円増配し1株当たり40円とさせていただきます。

株主の皆様には、入浴剤等のTLS製品を永らくご愛顧いただきましたことに、改めまして感謝申し上げます。また、TLSは昨年8月より当社グループから独立し新たなスタートを切っておりますが、今後ともTLS製品へのご支援も賜りますよう併せてお願い申し上げます。

※株主優待制度の廃止につきましては、平成21年5月14日に对外発表させていただいております。

～ツムラホームページ（IR）がリニューアル～



当社は、株主・投資家の皆様が知りたい情報・内容をより充実させるとともに、分かりやすいサイトへと、本年4月よりツムラホームページ（IR）をリニューアルいたしました。

株主・投資家の皆様に関心の高い財務データをはじめ、最新のIRカレンダーやマンスリーインフォメーションなど、分かりやすくご紹介しています。

さらに、「個人投資家の皆様へ」では、個人投資家の皆様が知りたい情報を集約して掲載しています。今後もより内容の充実したサイトへと随時リニューアルを行なう予定です。

是非、ご活用ください。

会社の概要・株式の状況（平成21年3月31日現在）

●会社概要

本 社 東京都港区赤坂二丁目17番11号
創 業 明治26年4月10日
設 立 昭和11年4月25日
資 本 金 194.87億円
従業員数 （単体）2,205名（就業人員数）
（連結）2,631名（就業人員数）

●役員

代表取締役 芳井 順一
専務取締役 久島 正史
常務取締役 森 善樹
常務取締役 市尾 義昌
取締役 上田 賢示
取締役 荒井 聡
取締役 田中 典裕
取締役 杉田 亨
常勤監査役 村山 努
常勤監査役 桑原 耕三
監査役 湯佐 富治
監査役 野田 聖子

（平成21年6月26日現在）

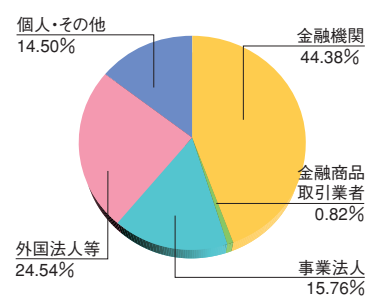
●連結子会社

国内 株式会社ロジテムツムラ
株式会社クリエイティブサービス
海外 深圳津村薬業有限公司
上海津村製薬有限公司
TSUMURA USA, INC.

●株式の状況

発行可能株式総数 250,000,000株
発行済株式の総数 70,771,662株
株主数 9,049名

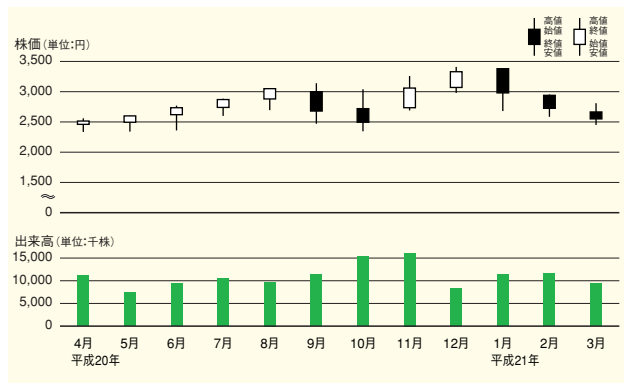
＜所有者別株式数分布状況＞



＜大株主の状況＞

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,341	11.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,915	8.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	5,260	7.43
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	2,697	3.81
ツムラグループ従業員持株会	1,654	2.34
第一三共株式会社	1,525	2.15
ザチエスマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	1,165	1.65
大日本住友製薬株式会社	1,092	1.54
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	925	1.31
住友不動産株式会社	791	1.12

●株価推移（平成20年4月～平成21年3月）



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号
TEL (03) 6361-7101